

第84回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

- 第1 開催日時 令和7年2月28日（金）午後7時～午後8時10分
- 第2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 第3 出席委員 出席21人（欠席6人）
石川英浩（会長）、浅野秀美、海老沢行子、川村信市、佐藤翔一、
佐野達男、更田俊郎、宍戸良雄、田中一枝、角田真宏、原谷幸雄、
森田美智子、増田雅則、山内一昌、山下幸生、
荻原正樹（副会長）、上野洋樹、垣花満、澤田忍、鷹林勝、山賀則夫
※ 名前の表示は、正副会長を除き、選出区分別五十音順
事務局 倉林真理子、竹内弘子
- 第4 会議の公開 公開
- 第5 傍聴人の数 2人
- 1 開会
 - 2 前回会議録の確認等
 - (1) タイムスケジュールの確認
 - (2) 第83回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について
 - 3 協議事項
 - (1) 能登半島地震に伴う災害廃棄物の広域支援について
 - (2) 令和7年度ふじみ衛生組合地元協議会施設見学会について
 - (3) 令和7年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて
 - (4) ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会の委員選出について
 - 4 報告事項
 - (1) ふじみ衛生組合の可燃ごみ広域支援及び相互支援について
 - (2) リサイクルセンターの更新について
 - (3) 施設の運転結果について
 - ア ごみ処理実績（令和6年4月～12月）について
 - イ 環境測定結果（令和6年4月～12月）について
 - (4) 第12回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告及び令和7年度ふじみまつり実行委員の募集について
 - 5 その他
次回日程等について
 - 6 閉会

配付資料

- 【資料 1】 ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿（第 8 期）
- 【資料 2】 第84回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール
- 【資料 3】 第83回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）
- 【資料 4】 能登半島地震に伴う災害廃棄物の広域支援に係る説明資料（当日配布）
- 【資料 5】 令和 7 年度ふじみ衛生組合地元協議会施設見学会について
- 【資料 6】 令和 7 年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュール(案)
- 【資料 7－1】 ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会設置要綱
- 【資料 7－2】 ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会委員名簿（第 6 期）
- 【資料 8】 可燃ごみ処理の相互・広域支援
- 【資料 9】 (仮称) 新リサイクルセンター整備及び維持管理委託事業審査講評
- 【資料10－1】 ごみ処理実績（令和 6 年 4 月～12月）
- 【資料10－2】 環境測定結果（令和 6 年 4 月～12月）
- 【資料11】 第12回ふじみまつり（～三調めのエントツくんまつり～）の報告

- 【参考資料 1】 令和 6 年度事業概要（三鷹市生活環境部ごみ対策課）
- 【参考資料 2】 令和 6 年度版調布市清掃事業概要（調布市環境部ごみ対策課）

当日配付資料

- 【資料 8】 クリーンプラザふじみごみピット等の写真
（仮称）新リサイクルセンター建設工事に関する工事協定書（案）

第84回 ふじみ衛生組合地元協議会

令和7年2月28日

1 開会

【事務局】

それでは、定刻となりましたので、第84回ふじみ衛生組合地元協議会を始めさせていただきます。

まず、事務局から資料の確認をさせていただきます。事前送付しました表紙が「第84回ふじみ衛生組合地元協議会 次第」、そちらにホチキス留めでつづられている冊子、それから右上に資料9と記載の「(仮称) 新リサイクルセンター整備及び維持管理委託事業審査講評」です。次に、本日机上配付させていただいた資料を説明します。まず、右上に資料4と記載の資料、2つ目に資料8の写真、それから3つ目として「工事協定書(案)」、それから、ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会の藤吉委員長の経歴、こちらは委員のみに配付しております。最後に、席次表となっております。席次表のA委員が抜けていますが、いらっしゃっています。申し訳ございません。

また、本日も議事録作成のため、会場内の発言を録音させていただきます。発言をされる場合は、事務局職員がマイクをお持ちしますので、マイクを使用し、また、お名前をおっしゃってからご発言いただきますようお願いいたします。

では、ここから会長に進行をお願いいたします。

【会長】

委員の皆様、改めまして、こんばんは。本日もお集まりいただきまして誠にありがとうございます。昨年11月22日の会議以来、3か月ぶりでございます。本日も、限られた時間で会議を進めますので、説明、質問をされる際は要点をまとめてご発言いただきますようお願いいたします。

それでは、本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。

【事務局】

本日の出席者は現在20人となっております(後に委員一人が参加)。全委員は27人であり、半数以上が出席されています。ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱第7条第2項に基づき、会議は有効に成立していますことを報告します。

2 前回会議録の確認等

【会 長】

では、次第に沿って進めます。

2（１）タイムスケジュールの確認です。本日、机上配付しました５ページ、資料２「第84回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール」をご覧ください。このタイムスケジュールに基づき、目安として閉会の時間を午後８時20分とさせていただきます。委員の皆様、会議の進行にご協力をお願いいたします。

次に、（２）第83回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）についてです。11月22日（金）開催の会議録について諮りたいと思います。該当はお手元の資料７ページから24ページまでとなります。会議録の内容についてご指摘などある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。

（挙手なし）

特にないようですので、第83回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）を承認することといたします。事務局で公開の手続を進めてください。

3 協議事項

（１）能登半島地震に伴う災害廃棄物の広域支援について

【会 長】

それでは、次第３、協議事項（１）能登半島地震に伴う災害廃棄物の広域支援について、事務局から説明をお願いします。

【事 務 局】

本日机上に配付させていただきました資料４をお願いいたします。

前回の第83回地元協議会では、石川県災害廃棄物の受入れの経緯についてご説明させていただきました。災害廃棄物の受入れについて委員の皆さんからご理解いただきました。誠にありがとうございました。

前回ご説明した時点におきましては、令和６年度については多摩地域全体で1,080トン受け入れて、ふじみ衛生組合は令和７年１月から３月までで100トンを受け入れる予定でございました。災害廃棄物の受入れについては、毎月１回、東京都、多摩地域の市町村、一部事務組合で集まりまして多摩地域災害廃棄物受

入調整定例会を実施し、情報共有を図っております。本日午後3時からこの研修ホールで第6回の多摩地域災害廃棄物受入調整定例会を行いまして、令和6年度は多摩地域全体で760トン、ふじみ衛生組合は1月から3月までで72トンの受入れを予定し、受入れの数量について時点修正がございました。受入れ処理実績につきましては、令和7年度に入りまして1回目の地元協議会でご報告させていただきたいと考えております。

また、令和7年度の災害廃棄物の受入れ予定数量につきましては、資料4にありますとおり、2の(2)のところに記載しております約50トンの処理の依頼が来ております。また、多摩地域全体では約700トンの受入れを予定しております。

ご説明は以上です。委員の皆さん、引き続き能登半島地震の災害廃棄物の受入れについて、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

内容は以上でございます。

【会 長】

事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問がある方は挙手をお願いいたします。よろしいですか。

それでは、令和7年度における能登半島地震に伴う災害廃棄物の受入れを行ってよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【会 長】

では、異議なしということで、能登半島地震に伴う災害廃棄物の受入れを来年度も引き続き行います。広報等により受入れについて市民への周知をお願いいたします。

(2) 令和7年度ふじみ衛生組合地元協議会施設見学会について

【会 長】

それでは、協議事項(2) 令和7年度ふじみ衛生組合地元協議会施設見学会について、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

それでは、お手元の資料の25ページをお願いいたします。

令和7年度の視察先について、事前に希望調査を実施いたしました。第1案が

甲府・峡東クリーンセンター、第2案が東京たま広域資源循環組合、第3案がヒルサイドレイク環境テクノロジーでございます。

26ページをお願いします。こちらは、委員の皆様からの回答をまとめた結果です。甲府・峡東クリーンセンターを希望される方が3人、東京たま広域資源循環組合を希望される方が7人、ヒルサイドレイク環境テクノロジーを希望される方が1人、上記いずれでも良い方が5人、その他が4人という結果となりましたので、視察先の第1希望を東京たま広域資源循環組合、第2希望を甲府・峡東クリーンセンター、第3希望をヒルサイドレイク環境テクノロジーとさせていただきます。

なお、希望調査票にも記載いたしましたが、バスの予約が現在取りづらくなっています関係から先にバスの予約をしておきまして、開催日を7月4日（金）としております。また、東京たま広域資源循環組合と甲府・峡東クリーンセンターは、施設の予約開始日が4月1日からとなっておりますので、視察先を含む詳細や出欠の確認につきましては、後日、皆様にご連絡させていただきたいと考えております。

説明は以上です。

【会長】

ありがとうございます。事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問がある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。

では、多数決によりまして、令和7年度ふじみ衛生組合地元協議会における施設見学会の場所を、第1希望を東京たま広域資源循環組合とし、4月1日に本予約ができなかった場合は、第2希望の甲府・峡東クリーンセンターに予約することにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【会長】

異議なしの声をいただきました。場所や出欠確認等、後日、事務局から連絡がいきます。

ほかにご意見、ご質問がありますか。特になければ次に進ませていただきます。

（3）令和7年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて

【会 長】

協議事項（３）令和７年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

それでは、先般、配付させていただいた冊子の資料、27ページ、資料６「令和７年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて」をご覧ください。５月または６月に、来年度の第１回目、８月、１１月、２月頃にそれぞれ地元協議会を開催したいと考えております。

なお視察につきましては、先ほどご説明したとおり７月４日（金）、その右の欄の安全衛生専門委員会は、６月下旬～７月上旬に年度第１回の開催を予定しております。

表の下にあります【任期】地元協議会（第８期）のとおり、今期の地元協議会任期が本年１１月３日までとなっておりますので、それまでの５月あるいは６月と８月の委員皆様のご都合をアンケートでご回答いただきました。28ページをお願いいたします。ここには開催候補日とその日にご都合がつかない委員の方の人数を記載しております。ご都合がつかない方が一番少ない日にちは６月２日（月）、次回につきましては８月25日（月）でございました。このことから、第85回地元協議会を６月２日、第86回地元協議会を８月25日に開催することで進めたいと考えております。また、１１月以降の日程につきましては新メンバーで調整を行いたいと思っております。

ちなみに、次回６月２日の主な協議内容につきましては後ほどご案内いたします「（仮称）新リサイクルセンター工事協定について」でございます。

事務局からの説明は以上です。

【会 長】

ありがとうございます。事務局の説明は終わりました。事務局案についてご意見やご質問などございますか。事務局次長からお話がありましたとおり、第85回が６月２日（月）、第86回が８月25日（月）となります。

【Ｂ 委 員】

今まで７時からでしたが、今度は18時半からになるのでしょうか。

【事 務 局】

原則 6 時半からとさせていただいております、今回につきましては正副会長のご都合もありまして 7 時から開催とさせていただいております。

【会 長】

今回は 18 時半からですね。

【事 務 局】

はい。

【会 長】

ほかにご質問ございますか。

では、特になければこのスケジュールで事務局に進めてもらいます。ご異議なしと認めさせていただきます。では、事務局の方、よろしくお願いいたします。

では次に進みます。

（４）ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会の委員選出について

【会 長】

それでは協議事項 4、ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会の委員選出について、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

引き続き私のほうから説明をさせていただきます。

お手元の資料 27 ページ、資料 6 の下の【任期】の下から 2 行目をご覧くださいませでしょうか。ふじみ衛生組合は平成 25 年 4 月のクリーンプラザふじみ稼働に合わせまして、周辺地域住民の健康被害の防止及び施設の監視を行うため、ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会を設置しております。

現在ご就任していただいております第 6 期安全専門委員会委員の任期は、こちらに記載のとおり、本年 6 月 12 日までとなります。この安全衛生専門委員会の設置要綱につきましては資料の 29 ページ、資料 7－1、第 6 期の委員名簿につきましては 31 ページに現在の皆様の名簿を載せていただいております。

現在のふじみ衛生組合地元協議会委員の任期は、本年 11 月 3 日までとなりますので、現在専門委員をお引き受けいただいている三鷹市側の地元協議会委員である C 委員には 11 月 3 日まで引き続き安全衛生専門委員会委員をお願いいたしたく、事務局から打診をさせていただきまして、すでにご内諾をいただい

るところであります。

一方、調布市側の地元協議会委員でありますA委員につきましては、次期はお引き受けいただくことが難しいとの回答をいただきましたので、A委員の後任として、任期はひとまず本年11月3日までとなりますが、調布市側で安全衛生専門委員を引き受けていただける方を、次回6月2日開催の地元協議会までに調布市委員の中で選出いただくことが必要となります。つきましては、調布市側の地元協議会委員代表の佐々木副会長とご相談の結果、本日の地元協議会終了後に調布市の地元協議会委員の中で話し合いをする時間を持ちたいとのことでしたので、恐れ入りますが、調布市の委員の皆様につきましては、本会議終了後に、第1・第2会議室にお集まりいただければと思います。

なお、地元協議会の会長と副会長につきましては、設置要綱第3条(4)(5)により、安全衛生専門委員を引き続きお引受けいただいておりますことを申し添えます。

説明は以上となります。

【会 長】

ありがとうございました。

事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問がある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会の委員について、三鷹市は引き続きC委員をお願いをし、調布市はこの会議終了後に残ってお話をさせていただきます。次回の地元協議会までに決定するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【会 長】

では、異議なしとさせていただきます。皆様、よろしく願いをいたします。

4 報告事項

(1) ふじみ衛生組合の可燃ごみ広域支援及び相互支援について

【会 長】

それでは、報告事項の(1)ふじみ衛生組合の可燃ごみ広域支援及び相互支援についてに移ります。事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

では、33ページの資料8と、本日机上配付させていただきましたA4の両面刷りの写真の資料をお願いいたします。

資料の説明の前に、相互支援、広域支援をお願いすることになった理由ですが、昨年の12月にクリーンプラザふじみのごみピットがいっぱいになってしまいました。これにつきましては、12年に1回のボイラの蒸気加熱器の更新工事を実施したことに伴いまして、焼却量が2,815トン減少しました一方でごみの搬入量が933トン増加したことによるもので、このような状況から、相互支援、広域支援をお願いしたものでございます。

本日、机上配付いたしました写真をご覧ください。上段の写真は令和6年12月13日のごみピットの状況です。中段が令和7年1月31日、下段が2月19日の状況で、ごみのレベルが下がってきていることがお分かりになるかと思います。裏面をご覧ください。上段の写真はごみが少ないときの状況でございます。現在、2炉稼働しておりますので、4月中旬頃には写真のようなごみピットの状況になる予定でございます。

また、その下の写真でございますけれども、相互支援、広域支援をお願いしていました期間につきましては、焼却施設のごみピットがいっぱいにならないようにするため、ふじみ衛生組合に入ってきましたプラスチックのごみにつきましては、大きなビニール袋の中に圧縮して梱包し、組合の西側駐車場などの敷地内に一時保管をしておりました。その後、少しずつクリーンプラザふじみで焼却し、民間事業者にも搬出して処理を依頼するなどいたしまして、2月24日に全て処理が完了しております。

続きまして、33ページの資料8をご覧ください。令和6年12月に実施いたしました相互支援及び広域支援の状況でございます。合計で1,138トンの支援をお願いいたしました。武蔵野市との総合支援につきましては、令和7年度分の600トンのうち479トンを前倒しで実施させていただきました。令和7年度に武蔵野市から同じ量のごみの搬入がありますので、費用は発生いたしません。また、立川市及び柳泉園組合との広域支援につきましては、処理経費は1キログラム当たり38円（消費税込み）で、運搬経費は、距離によって若干の違いがございますけれども、平均で1台当たり約2万4,000円でございます。処理に要した経費は、右

下の欄にありますとおり3,261万5,457円となりました。

皆さんにはご心配をおかけいたしまして、大変申し訳ございませんでした。

ご報告は以上となります。

【会 長】

ありがとうございました。

事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問がある方は挙手をお願いいたします。よろしいですか。

では、特になければ次に進みたいと思います。

(2) リサイクルセンターの更新について

【会 長】

報告事項の(2)リサイクルセンターの更新についてに移ります。事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

私から(仮称)新リサイクルセンター更新につきましてご説明させていただきます。別冊の資料9をご用意ください。こちらは(仮称)新リサイクルセンター整備及び維持管理委託事業の審査講評でございます。

3ページをご覧ください。落札者決定までの経緯でございます。

令和6年2月27日に入札公告を執り行いました。3月29日までに民間事業者2者から参加申請などの書類が提出されましたが、8月26日までに入札書類の提出がなかったことから、入札は不調となりました。

そこで、11月27日に再度入札公告を行いましたところ、12月13日までに1者から入札書類の提出がございました。その後、令和7年1月19日に技術提案の評価を行い、1月20日に価格審査及び総合評価を行いました。それらの結果を踏まえ、1月23日に開催されました第9回事業者選定審議会において、ふじみ衛生組合河村管理者に対しまして審議会会長が事業者選定結果を答申いたしました。

次に、事業者選定の結果でございます。12～13ページをご覧ください。技術提案の評価である非価格要素審査結果でございます。採点は加点方式でございまして、要求水準を上回る提案があった場合には加点を行うものでございます。結

果は、13ページ下段のとおり、33.43点の高得点となりました。

続きまして、価格審査の結果でございます。18ページをご覧ください。

入札価格は288億2,000万円、得点は19.40点で、昨今の物価高騰の影響を反映した得点となりました。なお、非価格要素審査点と価格審査点を合わせた総合評価は52.83点となりました。この結果を踏まえまして、JFEエンジニアリング株式会社を代表企業とするサルスベリグループを落札交渉先として選定いたしました。

今後の予定ですが、令和7年2月19日に建設請負契約を締結いたしました。3月中には、維持管理業務委託契約を締結する予定でございます。なお、工事に先立って、本日、工事協定書（案）を地元協議会の皆様に机上配付させていただきました。次回の地元協議会でこちらの内容について地元協議会の皆様と協議させていただく予定でございますので、次回までにお目通しいただきたく存じます。なお、それまでに質問等がございましたら事前にお問い合わせいただいても結構でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私からの説明は以上です。

【会 長】

ありがとうございます。

事務局より補足がございます。

【事 務 局】

本日、机上配付させていただきました工事協定書（案）でございますが、本日は時間の関係上、この中身については議論をしないということで、次回に議論いたします。中をまずご確認ください、一つ一つの条文についてチェックをしていただきたいのと、あともう一つ重要な視点は、組合の管理者と誰が協定書を結ぶのかという点でございます。焼却施設クリーンプラザふじみのときには、管理者と地元協議会会長、そして各選出母体である自治会・町会の会長全員と結んでおりますが、今回も自治会会長・町会会長と結ぶということだと、また皆様にも多少のお手伝いをいただくことになりますので、その契約締結先について、ふじみ衛生組合の地元協議会の会長だけでいいのか、それとも各選出母体である自治会長・町会長と締結するのかというあたりも、次回、ご意見をいただきたいと思いますので、併せてよろしくお願いいたします。

【会 長】

ありがとうございました。

事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問がある方は挙手をお願いしたいと思います。

A委員、お願いします。

【A 委 員】

目を通しまして、2つほど疑問点がございます。

1つ目はリチウムイオン電池の火災に関することです。14ページの講評に「具体的な対策が凝らされた提案を評価した。」と書いてございます。さらに、その講評のまとめだと思いますが、19ページの後段のほうに、リチウムイオン電池由来の火災について、組合と十分に協議し、対策を図ると書いてある。一応評価しながら、さらにまたというような感じを受けました。まず、その業者から画期的な提案を受けたということはどういうことなのか。それから、確かにリチウムイオン電池は緊急かつ重要な問題だと心得ていますが、それについてどのように運びたいとお考えになっているのかを回答いただきたい。

2つ目が、同じく講評の19ページの真ん中辺に、災害対策につきまして160名超の避難者を収容できるような設備を造ってもらったと、これも評価されていますが、これは多分、学習室等を利用してのことだと心得ておりますが、この160名というのはあくまでもリサイクルセンターだとすると、焼却施設の方では、そのようなことが考えられているのか。ふじみ全体としてこの160名超というのが妥当なのかということをお伺いしたい。仮に160名が200名になったとしても、調布市と三鷹市の人口は40万です。40万のうちの200名を収容したとしても0.1%切るわけです。皆さんに来られても困るような施設になると思います。早い者勝ちというところもあるかもしれませんが、それでは、まずいだろう。両市にまたがる施設ですから、管理もかなり大変だろうと想像します。

私の一案ですけれど、災害弱者に対象を絞る。市民全体を対象にするのではなくて、例えば、妊産婦や重度の障害者、特定の災害弱者に来てもらったほうがいいのではないかという提案です。もちろん次の検討をされるときに、そのようなことを考えましたので申し上げました。

【事 務 局】

ありがとうございます。2点、お話をいただきました。

まず1点目は、リチウムイオン電池等の火災の対策ということで、どのような具体的な提案があったかということですが、まず、事前の予防の観点からは、プラットフォームで選別を行ってからピットに落とす、特に粗大ごみ関係について提案をいただいています。

それから2つ目です。今度は、実際にごみがラインに流れてきたときの発火・発煙防止ですけれども、まず、煙センサーですとか温度センサーといった最新のセンサーをライン上に取り付けまして、煙が出たり温度が上がったり、そういった事象が発生した場合には自動的に消火体制に入れるようなセンサーを付けるということもいただいております。今のリサイクルセンターには全くございません。

それから3つ目として、実際に発火してしまったときの対応ですけれども、それについては、焼却施設にも水鉄砲、放水銃がありますが、単なる水の放水銃ではなく、放水銃から泡消火が出るという対策を取りたいということで、2段、3段の提案があったということでございます。

2点目の災害発生時でございますが、今後、運用については皆さんといろいろご相談させていただきたいと思いますが、基本的には、一時避難場所については、この近くであれば隣の三鷹中央防災公園・元気創造プラザがございまして、あちらでは建物と屋外を合わせまして約7,500人の収容を予定しているということでございます。新しいリサイクルセンターについては、どちらかというと建物が壊れてしまって家に住むことができないといった方を中心に、宿泊を伴う避難場所にしたいと今事務局では考えているところでございます。こちらの施設ですと、焼却施設が動いていれば電気はありますし、リサイクルセンターの建て替えに合わせまして、深井戸も掘る予定にもなっておりますので水の確保もできるということで、長期にわたって避難したいという方を中心にと考えています。

今、A委員からもお話がありましたとおり、160名、200名という人数でございますので、対象については、今後皆様ともまたご相談しながら決めていきたいと考えているところでございます。

【会長】

ありがとうございました。

A委員、よろしいでしょうか。

【A 委 員】

結構です。

【会 長】

ありがとうございました。ほかにご質問、ご意見はございますか。ありましたら挙手をお願いします。よろしいですか。

先ほどご案内にありましたが、工事協定書（案）につきましては、次回の会議で議題に上げさせていただきますので、それまでにお目通しをいただいてご意見等を持ち寄りいただければと思います。

D委員、どうぞ。

【D 委 員】

今のリチウムイオン電池の消火設備の話ですが、ハロン消火設備は入れないのですか。

【事 務 局】

取りあえず民間事業者からそういう提案があったということで、これから設計協議に入りますので、その中で具体的に詰めていきたいと思っております。

【D 委 員】

今の時代、ハロンというのは、当然のことだと思い、そのような提案があったのかと思いました。

【事 務 局】

ありがとうございます。

【会 長】

D委員、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

ほかによろしいですか。特になければ次に進みたいと思います。

（３）施設の運転結果について

ア ごみ処理実績（令和６年４月～１２月）について

【会 長】

それでは、報告事項の（３）施設の運転結果について、事務局から一括した説明をお願いしたいと思います。

【事務局】

それでは、令和6年4月から令和6年12月までの9か月間のごみ処理実績についてご説明させていただきます。重量につきましては小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

初めに35ページ、資料10-1をご覧ください。こちらはクリーンプラザふじみのごみ処理実績速報値でございます。上段のグラフの令和6年度の可燃ごみ搬入量の合計は5万8,114トンで、この5万8,114トンの中には、先ほど資料8でご説明させていただいた可燃ごみ処理の相互支援・広域支援の搬入量1,138トンも含まれております。令和5年度の5万5,764トンと比べまして4.2%の増となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が2万1,799トンで1.1%の増、調布市が2万7,115トンで0.1%の減。リサイクルセンターから出る可燃性残渣が7,086トンで41.1%の増となります。増要因は、令和6年8月からプラスチックを、10月からペットボトルの一部を焼却して熱回収したことによるものでございます。そのほか、広域支援による小平市の可燃ごみが2,114トンで4.0%の増という内容でございます。

その下の表になりますが、市民1人1日当たりの可燃ごみは、三鷹市が417グラムで、令和5年度の412グラムと比べて1.0%の増、調布市が412グラムで、令和5年度の413グラムと比べて0.3%の減となっております。

下段のグラフは焼却処理後の灰と鉄分の搬出量でございます。焼却灰、飛灰、鉄分の合計は5,357トンで、令和5年度の5,624トンと比べて4.8%の減となっております。

続きまして、資料の36ページをお願いいたします。こちらのグラフは、可燃ごみの焼却量及び焼却に伴う発電量と送電量を月別にお示ししたものでございます。令和6年度の焼却量の合計は4万9,706トンで、令和5年度の5万3,107トンと比べて6.4%の減となりました。搬入量が増加いたしまして焼却量が減少した理由といたしましては、令和6年度は12年に1回実施するボイラ蒸気加熱器の更新工事を行いまして、1号炉で約1か月間の工期、2号炉で約1か月間の工期で、合わせて約2か月間の更新工事の期間がございました。そのことから令和5年度と比べまして焼却炉の稼働日数が減少したことによるものでございます。

下の表、焼却炉の横の発電量の合計は2万9,517メガワットアワー（MWh）

で、令和5年度と比べて1.2%の増となっています。焼却量は減少いたしました
が、プラスチックごみなどのごみの量が増加いたしまして、高カロリーのごみの
焼却によりまして発電量がこのような状況となりました。参考までに9,065世帯
分の電気消費量に相当するものでございます。

その横の送電量の合計は2万1,818メガワットアワー（MWh）で、令和5年
度と比べまして3.5%の増となりました。その内訳といたしましては、リサイク
ルセンターが617メガワットアワー（MWh）で17.4%の減、三鷹市防災公園が
2,221メガワットアワー（MWh）で8.9%の減、電力事業者が1万8,979メガワ
ットアワー（MWh）で4.9%の増となっております。

リサイクルセンターの送電量の減の要因でございますけれども、先ほどご説
明いたしました令和6年8月からプラスチック、10月からペットボトルの一部
を焼却したことに伴いまして、プラスチック圧縮梱包機、ペットボトル圧縮梱包
機などの機械の撤去によりまして、電気の供給量が減少したことによるもので
ございます。

続きまして、リサイクルセンターの処理実績速報値でございます。37ページを
お願いいたします。上段のグラフをご覧ください。令和6年度の搬入量の合計は
1万2,553トンで、令和5年度の1万2,726トンと比べまして1.4%の減となって
おります。その内訳といたしましては、三鷹市が6,134トンで3.0%の減、調布市
が6,419トンで0.2%の増となっております。

右の表に移りまして、市民1人1日当たりの搬入量は、三鷹市が117グラムで
令和5年度と比べて3.1%の減、調布市が98グラムで令和5年度と比べまして
0.1%の増となっています。

また、下段の搬出量でございますが、令和6年度の搬出量の合計は1万2,229
トンで、令和5年度の1万2,118トンと比べまして0.9%の増となっております。
その内訳といたしましては、下の表に記載のとおり、アルミ、鉄など有価で売却
している金属類の合計が2,029トンで24.5%の増、そして、無償で引渡ししてお
ります容器包装リサイクル法の対象品目やリチウムイオンバッテリーなどの二
次電池の合計が3,013トンで41.5%の減となりまして、主な要因は日本容器包装
リサイクル協会に引渡しをしておりましたプラスチックは令和6年7月まで、
ペットボトルは9月までとしていたため、大幅な減少となったものでございま

す。

次に、廃乾電池や小型家電など適正処理に関わる費用を負担している、いわゆる逆有償の品目の合計が101トンで大幅な減となりました。なお、小型家電につきまして、令和5年度の4月から9月までは1トン当たり10円を事業者にお金をお支払いしまして搬出処理していたため、令和6年度の有償につきましては増加いたしました。その一方で、逆有償については大幅な減少となりました。また、逆有償の左の欄に「プラ（サーマル化）」という項目がございます。これにつきましては、先ほど資料8 可燃ごみ処理の相互支援・広域支援で実施しました期間中は、プラスチックをビニールに封じ込めていわゆるバール化したしましてふじみ衛生組合の敷地内に保管しておいたものでございまして、12月25日に民間事業者へ9トン搬出したしまして、ごみ固形燃料としてリサイクルしたものでございます。

続きまして、資料の38、39ページをお願いいたします。こちらは粗大ごみ、不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、びん・缶の品目別の搬入量実績でございます。ペットボトル以外の品目は令和5年度と比べて減少しております。38ページの下段のプラスチックごみでございますけれども、令和6年度と令和5年度を比較しましてほぼ収集量が変わっておりません。三鷹市、調布市の分別収集がこれまでどおりできているものと思われれます。そして39ページ上段のペットボトルでございますが、調布市のペットボトルが令和5年度と比べまして9.1%の増となっております。これにつきましては、昨年12月末に調布市内全域で特別収集を実施しましたことによるものでございます。

令和6年度の4月から12月までの9か月間のごみ処理実績速報値の報告につきましては、以上でございます。

イ 環境測定結果（令和6年4月～12月）について

【事務局】

続きまして、環境測定結果についてご報告いたします。

お手元の資料の40ページ、41ページ、右上の資料10-2「令和6年度環境測定結果」をお願いいたします。上半期である4月から9月分につきましては、前回、第83回地元協議会でご報告いたしましたので、本日は下半期10月から12月分に

ついて説明をいたします。

表の上段は施設の運転状況でございます。令和6年度下半期の運転状況ですが、表にございますとおり1号炉は11月23日に立下げ、2号炉は9月21日と11月25日に立下げを行い、それぞれボイラ蒸気加熱器の更新を行いました。また、11月25日にタービンを停止し、年次点検を行いました。

次に、その下にあります排ガス測定の表をご覧ください。ばいじんからダイオキシン類まで記載されている各項目について、11月に測定を行いました。測定の結果、全て自主規制値以下または基準値以下でございました。

続いて、騒音・振動・臭気・排水の測定と、その下の段、周辺大気の測定につきましては、10月から12月にかけて測定はございませんでした。したがって、次のページ、42ページの表1、表2の右側については空欄となっております。

ページを戻っていただきまして、40ページと41ページをお願いいたします。表の下段、放射能に関する測定でございます。測定は毎月実施し、焼却灰、飛灰、排ガス、排水の放射能値は不検出または基準値以下。空間放射線量率につきましては、全ての測定地点で基準値以下でございました。

環境測定結果の報告は以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問がある方は挙手をお願いいたします。D委員、お願いいたします。

【D 委 員】

単純な質問ですが、37ページの逆有償の用語の定義を教えてください。

【事 務 局】

逆有償の用語の定義でございますが、ふじみ衛生組合がお金を払って処理をしてもらうもの、それを逆有償といいます。逆に、ふじみ衛生組合がお金をもらえるもの、売り払えるもの、それが有償となります。

【会 長】

D委員、よろしいでしょうか。

【D 委 員】

はい。

【会 長】

ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問ございますか。B委員、お願いいたします。

【B 委 員】

環境測定結果の件です。

2年間、この協議会に参加させていただいていますが、毎回同じ表が出てきます。当然、協定書に基づいた回数の測定をされていますが、あくまでもこの数値は、スポットの数値です。もちろん、この数値が間違っているとは思っていませんが、外から見たときに、スポットというのは運転の仕方によって、数値を下げられる可能性がある。何を見たいのかというと、定期修理後の立ち上げなど、イレギュラーが起きたときにかなり薬剤を使ったり、pH値が変わったり、そういった数値が当然あると思いますので、データをプロット的に表にさせていただきたいという要望です。

要は、スポットで出てくる数値ではなくて、日常の管理の中でどの位イレギュラーなものがあるのか。そういう数値を外に表示しないと、外から見てこのスポットだけで「安全な運転ですか。」と言われても首をかしげざるを得ない。

長い間、このフォーマットで作られているのだと思いますが、表記の仕方を変えていただきたいということです。

【会 長】

事務局、お願いします。

【事 務 局】

これは法に基づく測定でございまして、それとはまた別に施設の維持管理ということで維持管理状況報告書というのをホームページで公表しております。1か月間の最高と最低の幅が分かるというような表になっておりますので、そういった形でよろしければ、今後、維持管理報告書も併せて出させていただきます。

【会 長】

B委員、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

ほかにご意見、ご質問などございますか。よろしいですか。

特になければ次に進みたいと思います。

(4) 第12回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告及び令和7年度ふじみまつり実行委員の募集について

【会 長】

報告事項(4) 第12回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告及び令和7年度ふじみまつり実行委員の募集についてに移ります。事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

それでは、45ページ、資料11「第12回ふじみまつり（～三調めのエントツくんまつり～）の報告」をご覧ください。

令和6年11月17日(日)に開催いたしました第12回ふじみまつりの来場者数は、過去最多となる4,780人となりました。昨年の来場者数は4,705人で過去最多でしたので、今回はこれを上回る多くの方々にご来場いただきました。参加団体数は29団体で、詳細は項目番号4、各参加団体における実績に記載のとおりでございます。

今年度も各団体の皆様に多大なるご協力をいただきました。様々な催物が大盛況で、来場者が長蛇の列を成し大変混雑した状況でありましたが、事故もなく第12回ふじみまつりを開催できたのは、ふじみまつり実行委員や学生ボランティア、参加団体の皆様のおかげだと深く感謝をしております。

続きまして47ページをお願いいたします。ふじみまつりに関する広報の実施状況を項目5に記載しております。

次の項目6には実行委員のメンバーを記載しています。ふじみ衛生組合地元協議会からは、西部住協の会長をはじめ、東部住協のE委員、連雀住協のF委員、新川宿町会のG委員、深大寺東自治会のH委員とI委員に実行委員メンバーとしてご協力いただきました。

項目7は、実行委員会等の開催経過でございます。

ページをめくっていただいて48ページ、項目の8、歳入でございます。キッチンカー等出店料が1万5,000円、エントツくんグッズ販売が8,800円となりました。

項目9の寄附につきましては、三鷹市西部地区住民協議会、三鷹市東部地区住

民協議会、それから、なかま・町づくりの売上金を、各団体のご好意により三鷹市と調布市の社会福祉協議会に寄附させていただきました。

49ページから57ページにかけて当日の写真を掲載してございます。また、58ページには収支内訳表を添付していますので、後ほどご覧ください。

続きまして59ページ、第12回ふじみまつり成果と課題（要約版）は、ふじみまつり実行委員会の反省会で出たご意見と、出店団体の皆様からのご意見、来場者アンケートに記載されたご意見、ふじみまつりに従事した職員から出された気がついた点などをまとめて、課題を整理した上で要約版として作成したものでございます。個別の説明は省略させていただきますが、来年度のふじみまつり実行委員会において、それぞれの課題と改善方法について議題として設定し、アイデア等をいただきたいと思いますと思っています。

来年度のふじみまつりにつきましては、令和7年11月16日（日）の開催を予定しておりますが、現在、ふじみまつり実行委員会の委員を募集しております。ふじみまつりは、地域の皆様との交流を深め、ごみ減量等の啓発活動の推進を図ることを目的として、平成25年度から開催しております。実行委員会の会議は年4回程度、会議は平日の夜間で行っておりまして、1回当たり1時間から1時間半程度でございます。会議への出席に当たり謝礼等はございません。これまでご協力をいただいた地元協議会委員の方々はもちろんのこと、新しい委員の皆様にも令和7年度のふじみまつり実行委員にご応募いただければ幸いに存じます。ご興味のある方は、ふじみ衛生組合の倉林または岩崎までお声がけいただければと思います。実行委員ではなくても、各自治会や団体でお店を出していただくことも可能でございます。ご質問等ございましたら、お気軽にご連絡をいただければと思っています。

説明は以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。

事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問のある方は挙手をお願いしたいと思います。よろしいですか。

I 委員、実行委員で頑張っていらっしゃいましたけれど、何かご意見や感想をお願いします。

【I 委 員】

楽しかったです。すごく良かったですし、毎年盛り上がっていると感じているので、次回、リサイクルセンターの所が少し縮小してしまうのは残念ではありますが、逆に縮小したところに、沢山の人が来たときどうするのかということを考えなければと思ったところです。

【会 長】

ありがとうございます。

E委員、実行委員でお店を出していらっしゃいましたが、いかがでしたか。

【E 委 員】

こんなに大勢の方がいらっしゃるということを、私もこの実行委員会に出る前は知らなかったです。昨年、初めて手伝わせていただきました。この施設の周知を目的にして開催しているということで、大勢の方に来場いただいて大変結構なお祭りだと思います。これからもよろしくお願いいたします。

【会 長】

ありがとうございます。

その並びでH委員、ご感想を。

【H 委 員】

ふじみまつりに何回参加させていただいているのか、分からないのですが、本本当に年々人気が高まって、人がたくさん来てくださるようになって、これはどんどん増えていくのかと、またそれも楽しみにしております。またよろしくお願いいたします。

【会 長】

お疲れさまでございました。

F委員、お願いします。

【F 委 員】

連雀地区住民協議会は、環境部会で参加しており、人手が足りなくて大変という部分と好きなことができるという特権がございます。人が本当に賑やかで、この施設を知らなかったという感想を随分いただきます。だったらこれは続けるべきだと思うのと、狭いところに4,700名余りが集まるのもどうしたものだろうという心配の両方を感じています。

【会 長】

ありがとうございます。

あと地元協議会からですとG委員、毎年いろいろお世話になりまして、ありがとうございます。今年の感想を一言お願いします。

【G 委 員】

昨年、今年と、とても相方がよかったので楽しく参加させていただきました。ありがとうございます。もう少し、ボランティアの人に参加していただけたら、もっと来ていただく人達とお話ができると思います。よろしくお願いします。

【会 長】

ありがとうございます。

では、特になければ次に進みたいと思います。

5 その他

【会 長】

5のその他に進みたいと思います。事務局、お願いいたします。

【事 務 局】

本来は協議事項となるのですが、資料等、間に合わなかったため、その他のところでお話しさせていただきます。

昨年、会長からご要望いただいております安全衛生専門委員会のJ委員長のごみに関する講義の開催について、来年度1回実施できる予算が取れております。本日、J委員長の経歴を委員の皆様には机上配付させていただいておりますので、ご参考にしていただければと思いますが、ふじみ衛生組合においては平成25年度に始まった第1回ふじみ衛生組合安全衛生専門委員会から委員長として関わっていただいている方となります。

開催時期について、地元協議会の現委員の任期中であります今年11月3日までに実施するか、または11月4日以降の新メンバーで開催するかを本日決定できればと思っております。詳細については後日調整いたしますが、講義内容のご要望があれば、来月、3月中に事務局までご連絡いただければと思います。

説明は以上です。

【会 長】

ありがとうございます。

J先生につきましては、現在、ふじみ衛生組合の安全衛生専門委員会の委員長を長年務められておりまして、なかなか直接ご講義を聞くということが難しい方でございます。経験も豊富で博学な方でございますので、ぜひ講義を一度皆様に聞いていただければと思います。私どもは本年の11月で任期終了となりますので、現メンバーで行うか、次期、来期のメンバーで聞くかということをお決りしたいと思います。

行政委員を除く住民委員の希望をとりますので、どちらがよいか決定をしたいと思っておりますので、挙手をいただきたく、ご協力のほどをお願いいたします。

まず、本期のメンバー、今年11月までのメンバーで講義を聞きたいと思う方は挙手をお願いします。事務局、カウントをお願いいたします。

(賛成者挙手)

【会 長】

15人中11人ということでございますので、過半数を超えておりますので、今期のメンバーで講義を行っていただきたいと思います。ということで、講義の内容に希望がございましたら3月中に事務局まで連絡をしていただきたいと思います。

J先生、私一度お話をさせていただきましたが、日本国内だけでなくヨーロッパやアメリカなどの海外のごみ事情にも非常にお詳しい方でございますので、日本との比較とか、そういった面も議題として面白いのではないかと個人的には思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ほかに事務局から何かございますでしょうか。

【事 務 局】

先ほど決定しましたとおり、次回は6月2日(月)の午後6時30分からこの会場で地元協議会を開催したいと思います。

説明は以上です。

【会 長】

それでは、次回、第85回地元協議会の開催日については、6月2日(月)、開始時間が変更されて午後6時半で決定させていただきます。

最後に皆様から何かご質問等ございましたら。I 委員、お願いいたします。

【I 委 員】

少し話が戻りますが、環境測定結果とごみ処理実績についての要望です。

やはり私もこの資料を見て毎回感じるのは、この数字がいいのか悪いのかが分からないというのが、一番の疑問です。それは目標に対して達成しているのかどうか、基準に対して満たしているのか分かっていないので、これがいいのかどうかの判断のしようがないというのが今の私の心境です。

お願いしたいのは、ご説明いただいた内容をサマリーで書いてほしい。つまり、この数字を追いかけて説明を聞いてもいいのかどうか分からないので、ご説明いただいた内容をまとめて要約して書いていただいた上で、そのエッセンスはこれですというように言っていただいた方が、より内容を咀嚼できる時間が確保できるので、いいのかどうかを考えられる時間がもらえると思いました。これまで、そのデータだけを見て説明は口頭というスタイルですけど、逆に口頭の内容を書いてもらった方がありがたいと感じます。要望ですので、具体的にできるかどうかをご検討いただければと思います。

以上です。

【会 長】

事務局、お願いします。

【事 務 局】

以前、基準値をグラフ上に引きまして、実際の測定値をそのグラフに載せるということで基準値と実際の測定値の乖離が見られるというようなグラフを作ったことがあるので、そういったものも含めて検討させていただきたいと思います。

【会 長】

事務局にそういったご意見があったということは、本日の議事録に載りますので、関連してB委員は、そんな感じでよろしいですか。

【B 委 員】

スポットデータであるよりは、定常の数値が出ている方が分かりやすいと思います。

【会 長】

かしこまりました。事務局は前向きにご検討をお願いいたします。

ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。

6 閉会

【会 長】

それでは、以上をもちまして第84回ふじみ衛生組合地元協議会を閉会といたします。

先ほど説明がございましたが、調布市の住民委員の方は第1・第2会議室に移動をいただきますようお願いいたします。

皆様、本日もお疲れさまでございました。ありがとうございました。

— 了 —